

平成30年度 ひょうご防災リーダー講座受講者募集

～地域防災の担い手となるリーダーをめざしましょう!～

あの阪神・淡路大震から既に23年が経過する中、震災の経験と教訓の風化が懸念されています。

今、私たちは30年以内に70～80%の確率で発生するとされる南海トラフの巨大地震に直面している他、激甚な直下型地震にもいつどこで襲われるかわかりません。また、近年の台風や前線による風水害、土砂災害も局地化、集中化、激甚化しており、豪雨災害も今後どこでも突発的に起こりうると言われています。また、福島第一原発事故に象徴される様に津波が引き金となって、災害が複合化することも懸念されます。そうした突発的な自然災害等に対して、我々は的確に行動出来るよう、日頃から地域防災力を向上させることが喫緊の課題となっています。この講座では、特に近年、全国で多発しているそうした突発的な自然災害等に皆さんがお住いの地域コミュニティが襲われた時、その地域コミュニティの自主防災組織等のリーダーとして力を発揮して頂ける人の育成を図るため、「平成30年度ひょうご防災リーダー講座」を9月23日(日)から約半年間にわたり、計12日間開講します。

本年度の講座の特徴としては、「**地域防災力向上を目指して**」という言葉キーワードに据え、日本の防災分野の一流講師陣による講義に加え、特に突発的な自然災害等に備えるため、自主防災組織等の地域コミュニティが主体となって直ぐにでも取り組むことが出来る実践的なプログラムを提供します。

地区防災計画づくり、避難行動訓練ゲーム、避難所設置・運営訓練、地域コミュニティ災害対策本部図上演習、地図等(GIS含む)を活用した実践的な地域防災力アップのための各種ワークショップ、地域防災訓練への参加等バラエティーに富んだカリキュラムで構成しています。

- 日 程** 平成30年9月～平成31年3月のうち 12日間
- 会 場** 兵庫県広域防災センター
- 受講対象** 現在、自主防災組織で活躍されている方や、今後、自らの地域で積極的に地域防災の担い手として活動しようとする方で、兵庫県内在住、在勤、在学の方
- 募集人員** 120名(申込者が定員を超えた場合は、活動歴、居住地等を考慮して決定します。)
※過去に防災リーダー講座を修了し、「ひょうご防災リーダー」の称号が授与された方は受講することができません。
- 申込期間** 平成30年7月13日(金)～9月18日(火) **必着**
- 受講料** 無 料(教材等の一部実費負担あり)
- 修了要件** ○右頁、下段を参照願います。

講座修了後は… 知事名の修了証と「ひょうご防災リーダー」の称号が授与され、地域防災の担い手として活動していただけます。さらに、日本防災士機構が認定する防災士の受験資格が付与されます。また、居住地(又は勤務地)の県民局、市町に修了者名簿を送付し、活動機会を提供します。

申込方法 インターネットもしくは郵送でお申し込み下さい。裏面QRコードもしくは、広域防災センターホームページ(<http://www.fire-ac-hyogo.jp/>)の「平成30年度ひょうご防災リーダー講座参加申込」ページからお申し込み下さい。
※郵送の場合は、別紙受講申込書に必要事項を記入の上、お申し込み下さい。(郵送先は裏面参照)



平成30年度「ひょうご防災リーダー講座」カリキュラム

※講師等の都合により講義日、講義内容を変更する場合があります。

	第1時限 (10時15分～11時35分)	第2時限 (12時30分～13時50分)	第3時限 (14時10分～15時30分)
1回目 9月23日 (日)	開講式 【国難と地域の災害に備える】 【関西大学社会安全研究センター長・特別任命教授 人と防災未来センター長 河田 恵昭 氏】	オリエンテーション 【施設紹介・自己紹介・役割分担等・ワークショップ】	
2回目 10月20日 (土)	地域における災害時要援護者対策 【兵庫県立大学准教授 阪本 真由美 氏】	地図を生かした地域防災力向上対策について 【兵庫県立大学准教授 浦川 豪 氏】	地域防災とその取組事例について 【兵庫県立大学環境人間学部准教授 木村 玲欧 氏】
3回目 10月27日 (土)	風水害の発生メカニズムとその対応 【神戸地方気象台防災気象官】	防災体験学習 放水体験・簡易救出器具取扱体験・ロープ結索・煙避難体験・地震体験・備蓄倉庫見学 【広域防災センター職員】	
4回目 11月10日 (土)	地域防災と災害医療 【高知県立大学大学院看護学研究科教授 神原 咲子 氏】	被災者の生活支援制度(法制度)・復興法制・被災者生活再建支援対策(ワークショップ) 【慶応義塾大学法科大学院 非常勤講師(弁護士) 岡本 正 氏】	
5回目 11月24日 (土)	近年の豪雨による水害・土砂災害発生～メカニズムの解明と犠牲者ゼロを目指して～ 【神戸大学名誉教授 沖村 孝 氏】	地域防災力向上のための避難所運営ワークショップ(講義及び演習) 【兵庫県広域防災センター 防災教育専門員+一般財団法人消防科学総合センター研究開発部 主任研究員 小松 幸夫 氏】	
6回目 12月8日 (土)	地域防災力向上に向けた地区防災計画づくり 【京都大学防災科学研究所教授 矢守 克也 氏】	地域の自主防災組織における危機管理とタイムライン 【東京大学生産技術研究所講師 沼田 宗純 氏】	今後の原子力災害対策 【京都大学原子炉実験所教授 中島 健 氏】
7回目 12月15日 (土)	行政の災害対応と教訓 【関西国際大学教授 村田 昌彦 氏】	災害情報が地域と人命を救う一現場で考えた防災 【国土館大学教授 山崎 登 氏(元NHK解説委員)】	建物の耐震化について直下型地震と長周期地震動の違いについて 【名古屋大学減災連携研究センター長・教授 福和 伸夫 氏】
8回目 1月5日 (土)	地域防災と超広域大規模災害に備える 【神戸学院大学現代社会学部客員教授 松山 雅洋 氏】	普通救命講習 【三木市消防本部・小野市消防本部・広域防災センター職員】	
9回目 1月12日 (土)	地域防災と災害ボランティアについて 【ひょうごボランティアプラザ 高橋 守雄 氏】	地域の自主防災組織における災害対策本部図上演習手法を学ぶ 【防災&情報研究所代表 高梨 成子 氏】	
10回目 2月2日 (土)	地域防災における被害想定と避難行動について 【東京大学大学院准教授 廣井 悠 氏】	避難行動ワークショップ(EBAG)〈風水害版〉 【いろいろな人の立場で考えよう、避難行動訓練EVAG】 【国土防災技術(株) 土佐 信一 氏】	
11回目 2月16日 (土)	南海トラフ地震・津波発生メカニズムと内陸地震(山崎断層帯地震)について 【関西大学社会安全学部准教授 奥村 与志弘 氏】	地域防災の実践活動とその課題(講義+パネルディスカッション) 【コーディネーター】 【関西国際大学教授 川脇 康生 氏】 【パネリスト】 全国の自主防災組織の代表事例発表者 等	
12回目 3月9日 (土)	地域の防災リーダーに期待すること 【神戸大学名誉教授 室崎 益輝 氏】	受講生によるレポート発表 開講式	防災士試験(希望者のみ)

○ 修了要件

- ① 上記カリキュラム(防災士試験を除く。)の内、3分の2以上の出席
- ② 次の2つの自主課題に係るレポートの提出(必須)
 - 地域防災訓練に参加し、その内容及び感想等についてレポートをまとめ提出
※事情により地元の地域防災訓練に参加出来ない場合は、三木市内(青山地区11月25日、緑が丘地区12月9日、自由が丘地区平成31年1月13日等)の地域防災訓練に参加し、所要のレポートを提出
 - 取材及びレポート:
地元の自主防災活動について、地元リーダー、市町防災担当、消防署等への取材を行い、その課題及び対応策等をレポートにまとめて提出
- ③ 普通救命講習修了

